

安全データシート (SDS)

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称

製品名 クイックシャイン
 整理番号 18-115352-1
 製品の種類 シリコン系エマルジョン溶液

会社情報

会社名 メグロ化学工業株式会社
 住所 茨城県古河市下大野1768
 担当部署 技術部
 電話番号 0280-92-1221
 FAX番号 0280-92-7147
 緊急連絡先 0280-92-1221

推奨用途および使用上の制限

自動車用ボディー用撥水コーティング剤 (シリコン系)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理的科学的危険性 : 分類対象外、分類できないまたは区分外
 健康に対する有害性
 急性毒性 (経口) : 区分外
 (経皮) : 区分外
 (吸入:ガス) : 分類対象外
 (吸入:蒸気) : 分類できない
 (吸入:粉塵) : 分類対象外
 (吸入:ミスト) : 分類できない
 皮膚刺激/腐食性 : 区分2
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分1
 呼吸器感受性 : 分類できない
 皮膚感受性 : 分類できない
 生殖細胞変異原性 : 分類できない
 発ガン性 : 分類できない
 生殖毒性 : 分類できない
 特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露) : 分類できない
 特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露) : 分類できない
 吸引性呼吸器有害性 : 分類できない
 環境に対する有害性
 水生環境有害性 (急性) : 区分2
 水生環境有害性 (慢性) : 分類できない
 オゾン層への有害性 : 分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 危険

危険有害性情報 皮膚刺激
 重篤な眼の損傷
 水生生物に毒性

注意書き

「安全対策」 使用前に安全データシートを入手し、全ての安全性注意を読み理解するまでは取り扱わないこと。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面など保護具を着用すること。
 取り扱い後は、手洗い、うがい等を行うこと。
 環境への放出を避けること。
 指定された用途以外には使用しないこと。

「応急処置」 皮膚 (または毛髪) に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
 皮膚刺激があれば、医師の診断/手当てを受けること。
 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。
 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が持続する場合は直ちに医師の診断、手当てを受けること。

「保管 (貯蔵)」 容器を密栓し、換気の良い冷暗所で保管すること。
 施錠して保管すること。

「廃棄」 製品の品質保護のため、0℃以下または40℃以上になる場所には保管しないこと。
 内容物や容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託し廃棄すること。

3. 組成・成分情報

単一化学物質・混合物の区別 混合物
 化学名または一般名 シリコン系エマルジョン溶液
 成分情報

成分番号	内容成分 (化学名または一般名)	含有量 [wt%]	化学式	CAS No	PRTR法 政令番号
1	変性シリコンオイル	10-20	-	登録済	非該当
2	非イオン系界面活性剤	1-5	-	非公開	非該当
3	グリコール系溶剤	5-10	-	登録済	非該当
4	防錆剤	0.01-0.1	-	登録済	非該当
5	水	70-80	H ₂ O	7732-18-5	非該当

4. 応急措置

吸入した場合	蒸気やガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合は、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	呼吸が不規則か止まっている場合、人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。 付着物は布で素早くふき取ること。 直ちに、全ての汚染された衣類を脱ぐこと。再使用前に洗濯すること。 多量の水および石鹸または皮膚用の洗剤で十分に洗い流す。溶剤、シンナーは使用しないこと。 皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを行うこと。
眼に入った場合	直ちに新鮮な流水で数分間、注意深く洗うこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる際には外すこと。洗浄を続けること。 刺激が継続するか刺激が再発する場合は医師による手当てを行うこと。 洗浄を始めるのが遅れたり、不十分であったりすると不可逆的な眼の障害を生じるおそれがある。 すぐには痛みがなく視力に影響がなくても障害が遅れて現れることがあるので、必ず医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合	揮発性なので吐き出させてはならない。水で口の中をよくすすぐこと。 直ちに医師の診断、手当てを受けること。 意識のない場合は口から何も与えてはならない。
予想される急性症状 及び遅発性症状	子供などが飲み込んだ懸念のある場合、直ちに医師の診断を受けること。 吸入による呼吸器官への刺激、咳、息切れ、めまい、し眠、頭痛。 飲み込みによる胃腸の刺激、吐き気、嘔吐、下痢、咳めまい、し眠、頭痛。 接触による皮膚の刺激と脱脂及び眼の刺激、発赤、痛み。 過度の暴露で麻酔作用、頭痛、めまい、視野狭窄、吐き気、下痢及び意識喪失。
応急処置をする者の保護	十分な換気を行う。 状況に応じて適切な眼・皮膚の保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤	水、粉末消火剤、炭酸ガス、泡（耐アルコール）消火剤、乾燥砂
使ってはならない消火剤	なし
特有の危険有害性	散水によって逆に火災が広がるおそれがある場合には、散水以外の適切な消火剤を使用すること。 燃焼の際は、一酸化炭素、窒素酸化物、ハロゲン化水素など、刺激性または毒性のガスを発生する恐れがあるので、消火作業時には煙を吸入しないようにすること。
特有の消火方法	可燃性のものを周囲より素早く取り除く。 関係者以外は安全な場所に退去させる。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。 消火作業は風上から行う。
消火を行う者の保護	消火のための放水により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように注意する。 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置	漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしないこと。 直ちに全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離して、関係者以外を近づけないようにする。 風下の人を避難させ、漏出場所から人を遠ざけること。 作業者は、適切な保護具を身につけ、眼、皮膚への刺激やガスの吸入を避ける。 密閉された場所に立ち入る前には換気する。 漏出した場所は滑りやすいので注意する。
環境に対する注意事項	漏出した製品が河川等に流出しないよう注意すること。環境中に放出してはならない。 多量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境に流出しないよう注意する。 海上において、薬剤を用いる場合は国土交通省令で定める技術上の基準に適合するものでなければならぬ。
回収、中和、封じ込め 及び浄化の方法	少量の場合は、乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて密閉可能な容器に回収すること。 多量の場合は、盛り土で囲って流出を防止し、ポンプなどで回収する。 付着物、廃棄物は都道府県条例に基づいて処理する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い	
技術的対策	皮膚、眼へのばく露防止のため、長袖の作業衣を着用し、適切な保護具（ゴム手袋、保護眼鏡、マスク等）を着用する。 漏出した場所は滑りやすいので注意する。
安全取扱注意事項	全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 接触、吸入又は飲み込まないこと。眼に入れないこと。 シミになるので、衣服には付着しないように注意すること。

1 2. 環境影響情報

製品としての安全性試験は行っていない。

○各成分の環境影響情報

成分 番号	内容成分 (化学名または一般名)	水性環境急性有害性	水性環境慢性有害性	オゾン層への有害性
1	変性シリコンオイル	区分2	区分外	分類できない
2	非イオン系界面活性剤	区分2	区分3	分類できない
3	グリコール系溶剤	区分外	区分外	分類できない
4	防錆剤	分類できない	分類できない	分類できない

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装： 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

1 4. 輸送上の注意

国連番号 (UN No.) : 非該当
品名 (Proper Shipping Name) : 非該当
クラス (Class) : 非該当
容器等級 (Packing Group) : 非該当
緊急時対応措置指針番号 : 非該当

国際規制

海上規制情報 IMOの規定に従う。
航空規制情報 I C O / I A T A の規定に従う。

国内規制

陸上規制情報 消防法、労働安全衛生法、道路法等に従う。
海上規制情報 船舶安全法に従う。
航空規制情報 航空法に従う。

特別安全対策

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、転倒・落下で破損しないように積載し、荷崩れの防止を確実に行う。
衝撃を与えないように丁寧に扱う。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
重量物を上積みしない。
横積み厳禁。水漏れ厳禁。直射日光を避ける。
夏場の輸送時においては、熱い鉄板や地面などの上に直接置かない。

1 5. 適用法令

消防法 : 非該当
労働安全衛生法 : 政令第18条および第18-1条 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 (H28/6/1 施行)
名称等を通知すべき有害物 非該当
名称等を表示すべき有害物 非該当
有機溶剤中毒予防規則 非該当
特定化学物質障害予防規則 非該当 ※改正 (H29/6/1 施行) により追加された特定化学物質まで
毒物及び劇物取締法 非該当
化学物質管理促進法 (P R T R 法) : 非該当
悪臭防止法 : 施行令第1条 非該当
大気汚染防止法 : 非該当
海洋汚染防止法 : 有害液体物質Ⅱ類物質 プロパン-1,2-ジオール
船舶安全法 : 危険則3条6 非該当
港則法 : 施行規則12条 非該当
航空法 : 施行規則第194条 非該当

1 6. その他の情報

参考文献

- 1) 溶剤ポケットブック1997 (オーム社)
- 2) GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック改訂第2版 (日本塗料工業会)
- 3) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (n i t e)
- 4) 職場のあんぜんサイト: GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報
- 5) 原料メーカーMSDS 等

本書の内容は、法規改正、新しい知見や情報入手、試験等により改定されることがあります。
記載内容は現時点入手できた資料や文献等の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては如何なる保証をなすものではありません。
全ての化学製品には、未知の危険性や有害性があり得るため、お取り扱いには細心の注意が必要です。
本書には通常の危険性や有害性について記載してありますが、記載内容以外の危険性や有害性が存在しないことは保証できません。
記載事項は通常の取り扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、新たに用途/用法に適した安全策をご実施の上、お取り扱い願います。